



Data

監督: キム・テヨン

出演: ムン・ソリ/オム・テウン/
コ・ドゥシム/コン・ヒョジン/
キム・ヘオク/リュ・スンボム(特別出演)/ボン・テギユ/チョン・ユミ/チュ・ジンモ

👁️👁️ みどころ

観客動員数22万人の本作が、1301万人の『ゲムル-漢江の怪物-』(06年)を抑えて作品賞と脚本賞をゲット! その理由は、3つの家族からなる3つの物語のラストで明かされるあっと驚く結末を観れば明らかだが、日本人にはその理解はちょっと難しいかも? そこで本作の鑑賞については、タイトルの意味を考えながら、登場人物の相関図を作り、よく観察することが不可欠? それにしても、人間の絆って不思議なものだね・・・

『ゲムル』を抑えて作品賞、脚本賞をゲット!

韓国映画の観客動員数歴代トップは、それまでトップだったイ・ジュンイク監督の『王の男』(05年)の1230万人を抜いたボン・ジュノ監督の『ゲムル-漢江の怪物-』(06年)で1301万人。韓国の人口は約4800万人だから、その動員数は驚異的。

ところが、2006年の第44回大鐘賞映画祭で作品賞と脚本賞を受賞したのは『ゲムル-漢江の怪物-』ではなく、観客動員数わずか22万人だったという本作だが、それは一体なぜ?

第1話の家族は?

本作は3話のオムニバス模様で構成されており、3組の家族が登場する。ここでストーリーを詳しく解説するつもりはないが、それらの登場人物について必要最低限の紹介をしておかなければ何の映画かサッパリわからないので、まずはその紹介を。

第1話には『オアシス』(02年)(『シネマルーム7』177頁参照)や『大統領の理髪師』(04年)(『シネマルーム7』275頁参照)でおなじみの名優ムン・ソリが、優しい

お姉さんイ・ミラ役で登場する。1人で家を守っていたミラのもとに5年ぶりに戻ってきたのが、フーテンの寅さんのようなノー天気男のイ・ヒョンチョル(オム・テウン)、いきなり戻ってきたヒョンチョルとの姉弟の再会の喜びも束の間、ミラの前にヒョンチョルが門の外から呼びよせたのは、ヒョンチョルの妻だというオ・ムシン(コ・ドゥシム)

それだけでもビックリだが、さらにミラが驚いたのははじめて見たムシンは明らかに自分よりも年上で、何と弟のヒョンチョルとは20歳も年が離れているらしいこと。もちろん弟は仕事をみつけるまではこの家にムシンと同居するつもりだし、ミラも当初それを当然のように受け入れたが、こんな奇妙な3人の同居生活ってうまくいくの?たちまち、その夜からふすま1枚を隔ててミラの耳には新婚夫婦の夜の営みの声が・・・。

さらに話がこんがらがってくるのは、ミラの家にもムシンの前の前の夫との子供(?)だという女の子が突然1人で訪れてきたこと。これはヒョンチョルが気を利かせてムシンの連絡先を教えたためだが、これにはさすがにミラもカチンときたはず。また、ムシンも子供を追い返そうとするが、そんなトラブル続きの中、今やミラの家の中はテンヤワンヤ・・・。

第2話の家族は?

第1話での3人の同居生活は次第にほころびを見せはじめ、ついにヒョンチョルは追い出されるような形で家を出ていくことに。そうなるとう当然ムシンもミラの家を出ていくことになるはずだが、そこでムシンに示したミラの態度には少し変化が・・・。

そんな思わせぶりなシーンの後、話は突然第2話に移り、日本語の観光ガイドをしながら1人気丈に頑張っている女性ユ・ソンギョン(コン・ヒョジン)が登場する。第2話はそんな頑張り屋のソンギョンと、少し男にだらしない(?)母親メジャ(キム・ヘオク)との母娘対決の物語がメインとなる。メジャは今妻子ある男ウンシク(チュ・ジンモ)と不倫の仲にあり、メジャとウンシクの間には幼稚園に通う男の子ギョンソク(キム・ヒス)がいるが、現実主義者のソンギョンの目にはメジャとウンシクの仲はいかに中途半端で将来性が見えないから、いつもイライラ。そのうえ自分も彼氏のジュノ(リュ・スンボム)との仲がうまくいかないから、こちらでもイライラ。その結果、ソンギョンは単身ウンシクの家に入り込み、妻や子供たちの目の前でウンシクに対し「あなたは私の母親を愛しているのか?」とストレートに気持ちをぶつける武勇談も見せるが、それによって問題が解決するの?

そんなトラブル続きの中、病気を患っていたメジャはあっけなく他界。ソンギョンは父親違いの年の離れた弟ギョンソクと共にその葬儀を終えたが、さてこの2人は今後人生の荒波の中をどのように乗り切っていくのだろうか?

第3話の家族は?

第3話にはやけに可愛い女の子が登場するからそれに注目!男にとって映画を観る楽し

みの1つは、スクリーンではじめて発見する美人女優の姿。中学、高校時代の私にとってのそれは、『ローマの休日』(53年)や『麗しのサブリナ』(54年)のオードリー・ヘップバーンをはじめ、『誰がために鐘は鳴る』(43年)のイングリッド・バーグマン、『隊長ブルーバ』(62年)のクリスティーネ・カウフマンなどだ。また、中国映画を観はじめた頃の『紅いコリアン』(87年)のコン・リーや、『初恋のきた道』(00年)のチャン・ツイイーがそれ。また中学、高校時代の邦画で言えば、吉永小百合はもちろん、桑野みゆき、本間千代子、姿美千子、西尾三枝子、梶芽衣子(太田雅子)など私が注目した美人女優は山ほどいる。

そんな美人女優大好きな観点からの映画鑑賞術は今も全く変わっていないが、そんな私が本作で発見した美人女優が映画冒頭にチラリと姿を見せ、第3話で本格的に登場する女子大生のチェヒョン(チョン・ユミ)、誰にでも優しくおおらかな(八方美人の?)チェヒョンに対し、馬ヅラの恋人チェ・ギョンソク(ボン・テギユ)はかなり嫉妬深そうだから、そんな2人の仲はいつもハラハラ状態。したがってギョンソクとチェヒョンの、ケンカしては仲直りする姿が次々と描かれる第3話はかなりイライラさせられるストーリーだが、私の女優鑑賞眼にぴったりフィットしたチョン・ユミは、私にとってかなり魅力的な女優。ちなみに、彼女は第27回青龍賞で女優助演賞を受賞したが、さてその後の活躍ぶりはいか?

なるほど、こりゃ脚本賞!しかしわかるかな? その1

本作の邦題は「家族の誕生」で原題も同じらしい。しかし3組の家族が登場するオムニバス風の3話の物語のタイトルが、なぜ「家族の誕生」?韓国で2006年に公開された本作は2008年3月の「韓流シネマフェスティバル2008春」で上映されているから、ネタバレ覚悟で、最後のストーリー展開の中ではじめて明らかになる「家族誕生」の様子を紹介したい。

第3話でギョンソクから別れを告げられ、傷心のままチェヒョンが列車に乗ったところからそんな種明かし(?)が始まる。八方美人のチェヒョンに愛想を尽かして別れたはずのギョンソクが列車に乗り込んできてチェヒョンの隣の席に座ったのは、想定範囲内。しかしチェヒョンが向かった先、すなわちチェヒョンの故郷の家には何と第1話に登場したミラとムシンがいたからビックリ。つまり、ミラは弟のヒョンチョルを家から放り出したものの、その後ミラはヒョンチョルの妻のムシンと一緒にあの家で暮らしていたわけだ。すると、そんな自分の家に戻ってきたチェヒョンは、あの時1人ミラの家を訪ねてきたあの小さな女の子?なるほど、そういう人間的なつながりがあったのか?

なるほど、こりゃ脚本賞!しかしわかるかな? その2

さらに驚くのは、ミラ、ムシン、チェヒョンの3人にギョンソクを加えた4人での共同生活を始めたミラの家を、再度弟のヒョンチョルが訪れてくること。今度もお腹の大きく

なった妻を同伴してだったから、ミラはビシヤリとその帰宅をハネつけたが、こりゃちょっとかわいそう？

もっとも、「兄弟は他人の始まり」というから、フーテンの寅さんのようなヒョンチョルよりも、ミラにとってはムシンやチェヒョンやギョンソクの方が新たな家族の誕生だったのかも？

なるほど、こりゃ脚本賞！しかしわかるかな？ その3

第3話の中でギョンソクはお姉さんと2人で生活していたが、メガネをかけたお姉さんの登場シーンのごくわずか。したがって、このいかにも地味なタイプのお姉さんに興味を示す日本人の観客はほとんどいないだろうが、このお姉さんは一体ダレ？そんな疑問が解消するのが、花火大会の夜テレビに映る合唱団の中にもみるお姉さんの姿。何と彼女は、第2話に登場したあの気の強い日本語の観光ガイドをしていたソングョンだ。すると、その弟のギョンソクは、父親違いの年の離れたあの小さかった弟ギョンソク！

なるほど、なるほど、そうだったのか。これで第1話から第3話までの登場人物がみんなつながり、新たな「家族の誕生」となるわけだ。こんな面白い脚本が評価されて、本作は第44回大鐘賞映画祭の作品賞と脚本賞を受賞したわけだが、さて日本人のあなたにこの脚本の妙がわかるかな？

2009(平成21)年6月30日記

正月に考えるべき、2つの宿題は？

民主党政権への国民の期待は高いが、マニフェストの実行と財源をめぐる問題点が次第に顕著に？政治・経済のあり方をめぐる論点は多いが、正月には次の2つを宿題としたい。

第1は小泉・竹中改革によって実現した郵政民営化の方向性が国民新党の亀井静香郵政問題・金融担当大臣の腕力によって再び国営化の方向に逆もどりしていること。郵政問題の1丁目1番地は郵貯資金の入口論と出口論だが、国民はホントにそれがわかっているの？第2は政府と与党のあり方をめぐる根幹的

な議論と小沢一郎幹事長の下で進められている国会改革の行方。脱官僚依存と政治主導は当然だが、政府(官邸)と与党のあり方は難しい。鳩山新内閣は細川連立政権時代の轍を踏まないため、官邸による政策決定の一元化を打ち出したが、さてその現実とは？

また、国会は本来立法のための唯一の機関だが、議員立法の途を閉ざされたら民主党議員の仕事は一体ナニ？彼らは単なる拳手要員？答えは難しいが、政権交代直後の正月は、じっくりお勉強を！

2009(平成21)年11月5日記